

火災統計



火災統計

火災件数

平成25年中、小牧市で発生した火災件数は64件で、前年と比べ5件の減少となりました。

種別ごとでは、建物火災32件（6件の減）、車両火災9件（4件の増）、林野火災2件（1件の増）、その他火災21件（4件の減）となっています。

また、建物火災32件のうち住宅火災（共同住宅を含む）の占める割合は、23件で、全体の約72%と非常に高くなっています。

住宅用火災警報器の奏功事例

平成25年中に小牧市内では、住宅用火災警報器により火災に至らなかった事例が2件、火災となったが被害を最小限にとどめることができた事例が3件ありました。

住宅防火対策については、平成23年6月から全国すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられており、設置率向上及び維持管理促進のため、一般家庭の防火査察、防火広報など、あらゆる機会を捉え、普及啓発活動を実施しています。

火災原因

出火原因別を見ると、最も多いのが、「こんろ」及び「たき火」で、それぞれ10件（約16%）、続いて「放火の疑い」9件（約14%）の順になっています。

また、「放火」及び「放火の疑い」を合わせると15件（約23%）で、前年と比べ5件の増加となりました。

火災による損害及び死者・負傷者

火災による損害額は、150,030千円で、前年と比べ65,267千円の減少となりました。

また、今年は火災による死者は発生しておらず、負傷者は27名と前年に比べ8名の増加となりました。

火災件数及び損害額の推移

(平成16年～25年)

区分 年別	火災件数 (件)	火災件数内訳				損害額 (千円)	死者		負傷者
		建物	林野	車両	その他		48時間	30日	
16年	107	45	1	29(2)	32	213,338	2	0	13
17年	64	42	1	9(3)	12	113,127	3	0	7
18年	81	43	3	11	24	57,110	1	1	9
19年	63	28	2	9(3)	24	765,228	0	0	10
20年	66	35	2	10	19	57,236	0	0	16
21年	76	39	1	11(1)	25	144,987	2	2	12
22年	88	42	0	15(3)	31	48,929	0	0	17
23年	75	36	1	9(1)	29	299,765	2	0	8
24年	69	38	1	5	25	215,297	3	1	19
25年	64	32	2	9	21	150,030	0	0	27

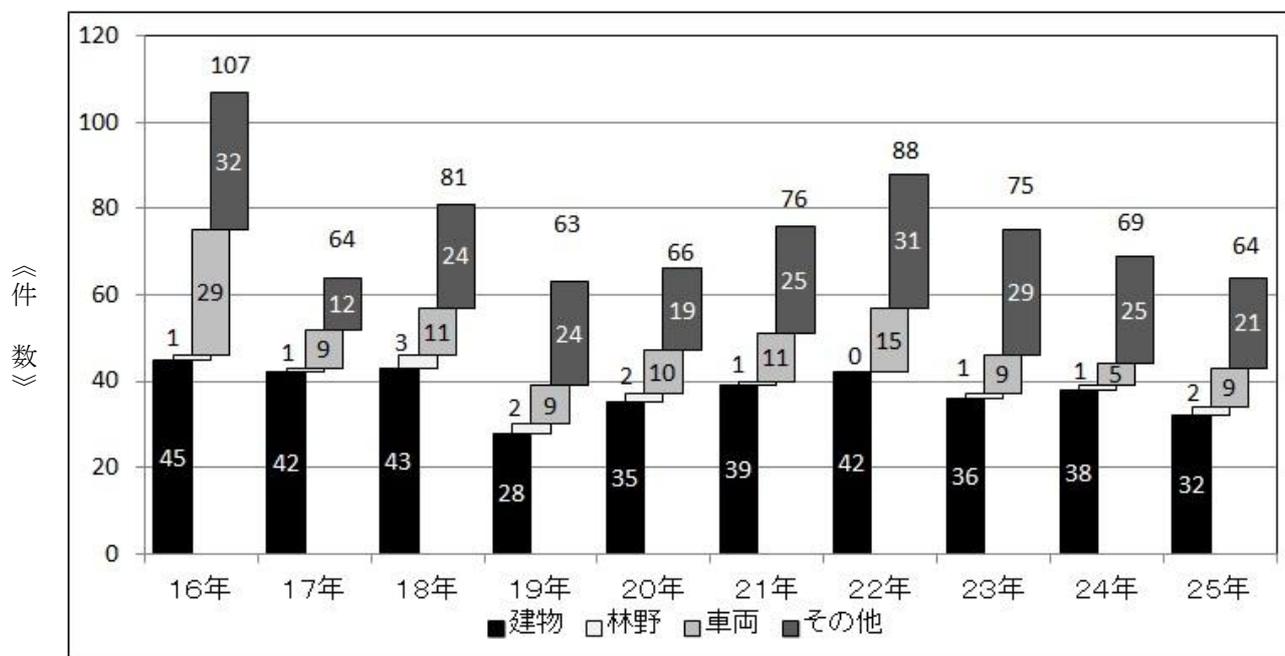
※30日死者とは火災に起因する原因により、48時間を経過して30日以内に亡くなった方。

負傷者に、30日死者含む。

()内は、高速道路上で起きた火災であり、内数とする。

火災種別と推移

(平成16年～25年)

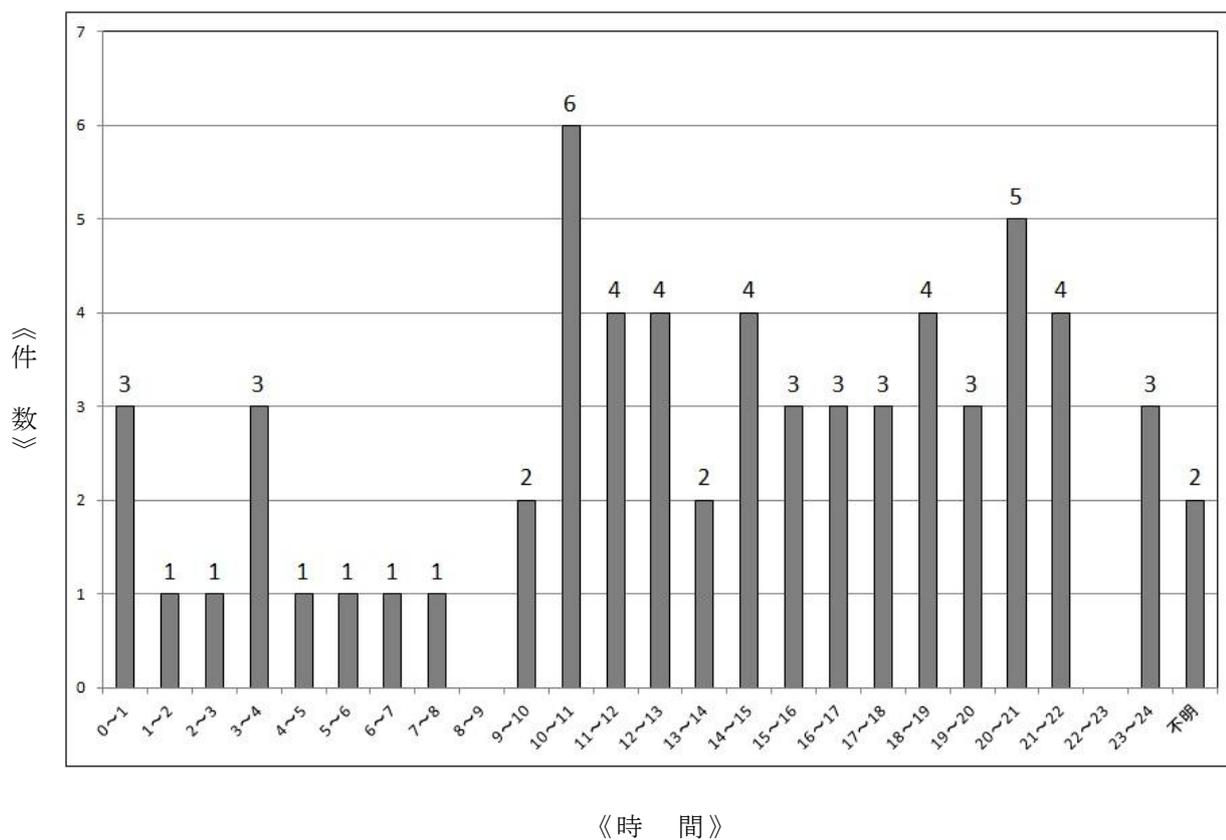


《年 別》

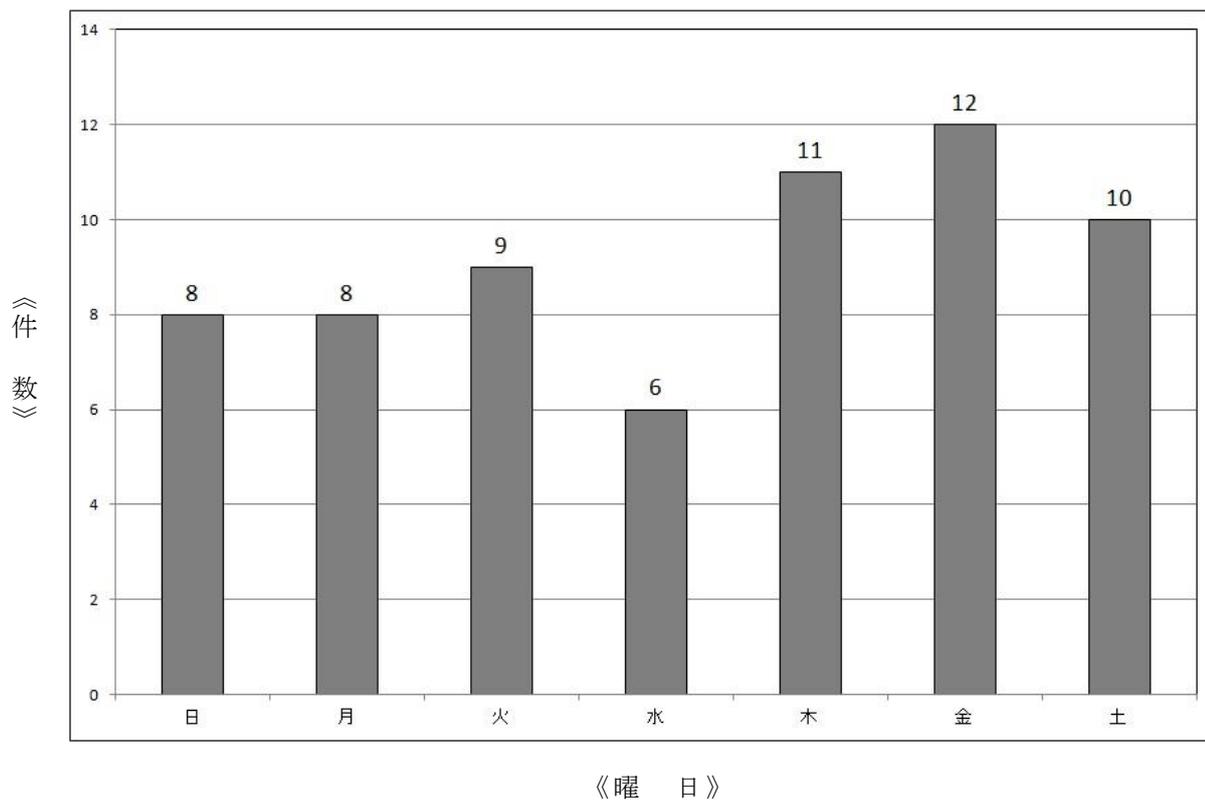
月別火災状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
出火件数	建物	4	5	5	4	2	2	3	1	2	3		1	32
	林野	1		1										2
	車両	1	2	1	1	1			1	1			1	9
	船舶													
	航空機													
	その他	2	1	4	1	2		3	1	2	1	1	3	21
	計	8	8	11	6	5	2	6	3	5	4	1	5	64
焼損棟数	全焼	1	3	2	1									7
	半焼			1				1						2
	部分焼	1	1	1				1		1				5
	ぼや	3	3	3	2	2	2	1	1	2	3		1	23
	計	5	7	7	3	2	2	3	1	3	3		1	37
焼損面積	建物床面積(m ²)	17	518	262	138			72					1	1,008
	建物表面積(m ²)		2				1	18		31				52
	林野(a)	8		15										23
死者負傷者	死者(48h)													
	死者(30日)													
	負傷者	2	5	5	6	1	2	2		1	1		2	27
り災世帯数	全損	1	10	2				1						14
	半損													
	小損	3	2	3	2	1	2	3		3	2		1	22
	計	4	12	5	2	1	2	4		3	2		1	36
り災人員	10	17	9	5	6	5	13		15	6		1	87	
損害額(単位:千円)	建物	198	16,737	50,675	21,269	34	516	16,417	36	161	1		38	106,082
	林野													
	車両	163	809	27	81				760	200			216	2,256
	船舶													
	航空機													
	その他(爆発を含む)	193	1	8	41,385				72	33				41,692
	計	554	17,547	50,710	62,735	34	516	16,417	868	394	1		254	150,030

時間別出火件数



曜日別出火件数



火元建物用途別火災状況

建物用途	出火件数	焼損棟数					焼損面積		死者負傷者		り災世帯数				り災人員	損害額 (千円)
		計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	床面積 (㎡)	表面積 (㎡)	死者	負傷者	計	全損	半損	小損		
合計	32	36	7	2	4	23	1,008	22		23	35	14		21	81	147,851
住宅	15	19	5	1	2	11	407	20		13	15	4		11	47	59,397
併用住宅																
共同住宅	8	9	1	1	1	6	459	1		7	18	10		8	30	25,497
飲食	3	3	1			2	138									21,520
停車場	1	1				1										
神社・寺院	1	1				1		1								32
工場	1	1				1										36
事務所	1									2						41,349
複合用途 (特定)	1	1				1	1				2			2	4	13
その他	1	1			1		3			1						7

※その他火災による延焼棟（部分焼1棟、損害128千円）除く。

損害額は延焼した車両等の損害額（41,897千円）を含む。

覚知方法別出火件数

総数	火災報知専用電話 (固定電話)	火災報知専用電話 (携帯電話)	加入電話	巡回中 発見	駆け付け 通報	事後聞知	その他の 通知
64	29	25				10	

出火原因別損害額状況

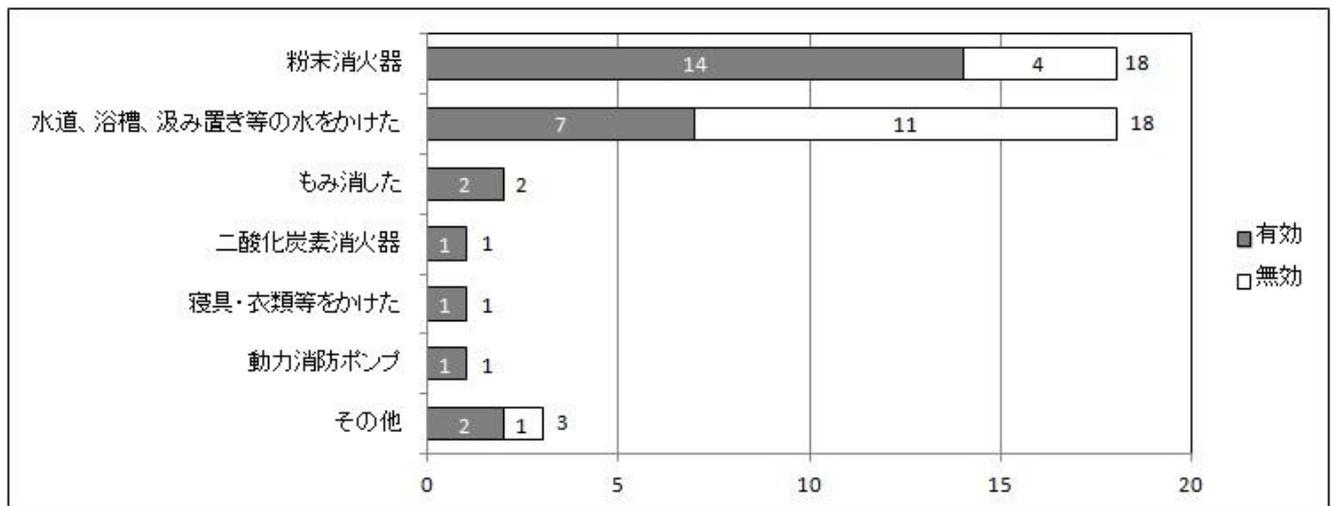
	建物		車両	林野	その他	計	損害額 (千円)
		住宅					
こんろ	10	9				10	7,111
たき火				2	8	10	28
放火の疑い	3	2	2		4	9	561
放火	3	1			3	6	39
たばこ	2	2	1		3	6	10,956
マッチ・ライター	3	3				3	16,063
焼却炉					2	2	161
電気機器	1	1	1			2	938
炉	1					1	36
ストーブ	1	1				1	167
電灯・電話等の配線	1	1				1	35,903
溶接機・切断機			1			1	832
灯火	1	1				1	7
火入れ					1	1	
その他	4		2			6	62,869
不明・調査中	2	2	2			4	14,359
計	32	23	9	2	21	64	150,030

※住宅に共同住宅を含む。

初期消火の実施状況

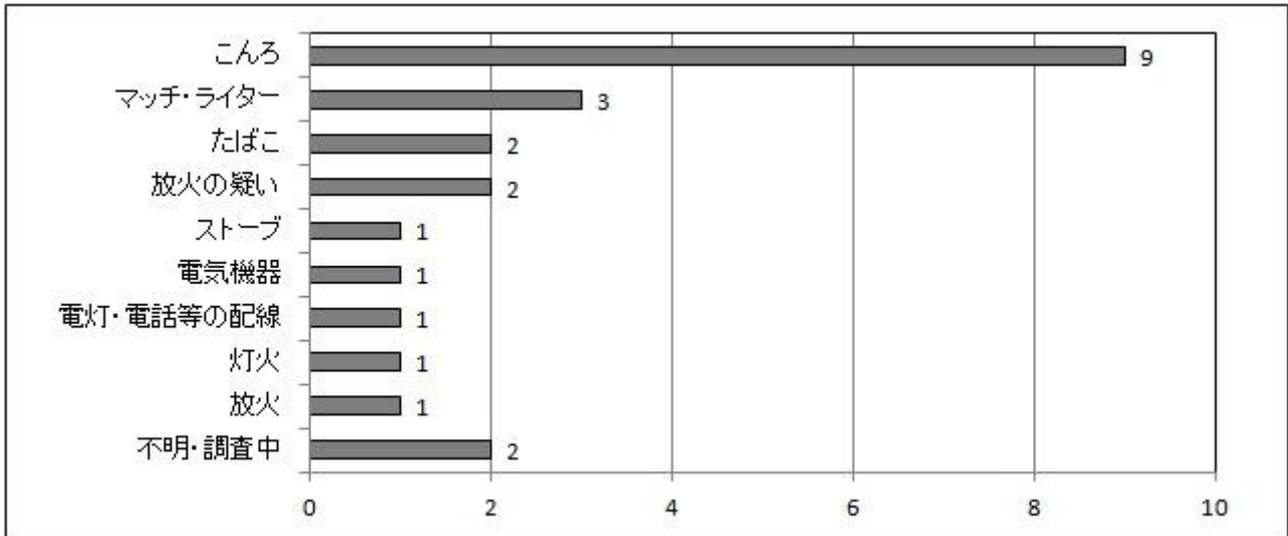
火災件数64件のうち、初期消火が行われた火災は44件ありましたが、そのうち初期消火の対応方法として、最も多かったのが「粉末消火器」及び「水道・浴槽・汲置等の水をかけた」で、それぞれ18件でした。

粉末消火器につきましては、初期消火に成功している割合が約78%と、高い数字を示しています。



住宅火災における出火原因

住宅火災（住宅及び共同住宅）23件の出火原因をみると、「こんろ」9件、「マッチ・ライター」3件の順になっています。



住宅用火災警報器の設置状況

住宅火災のうち、住宅用火災警報器を設置していなかった住宅は8件で、負傷者は9人となっています。

(損害額単位:千円)

	住宅用火災警報器								自動火災報知設備		
	設置	損害額	死者	負傷者	未設置	損害額	死者	負傷者	損害額	死者	負傷者
住宅	6	197		4	7	23,101		9			
併用住宅											
共同住宅	7	25,484		7	1	13					
計	13	25,681		11	8	23,114		9			

※住宅火災23件のうち、2件は住宅に付随する物置等から出火したものの。